

激励会で書道パフォーマンスを行う生徒＝可児市東帷子、広陵中学校



夏の大会 先輩にエール

広陵中で書道パフォーマンス披露
部活激励会

可児市東帷子の広陵中学校で22日、3年生に対する部活動激励会が開かれた。コロナ禍で思うような活動ができないまま、中学生最後の大会に臨む先輩たちに悔いのない戦いをしてもらいたいと、1、2年生が書道パフォーマンスやダンスでエールを送った。

3年生は、コロナ禍で緊急事態宣言が出た2020年4月に入学。活動が制約され続けた中でも懸命に部活動に励んできた。激励会は2年生が中心になって企

画。1、2年生約150人が野球、バスケットボールなど九つの部とクラブチームに所属する3年生約60人を激励した。

激励会では、有志が「ダシニング・ヒーロー」に合わせて、切れのいいダンスを披露。書道パフォーマンスも行い、1、2年生全員で「魅せつけろ 広陵魂」などと書かれた作品を読み上げた。

3年生は「ベスト8を目指す」「絶対勝つ」と、部ごとに決意を表明。白田伸

幸校長は「2年前、中体連の大会は全ての種目が中止になった。大会はできて当たり前前ではないことを忘れ

岐阜新聞に掲載していただきました。

ず、周囲に感謝する気持ちを持って出場してほしい」と呼びかけた。

吹奏楽部部長の3年服部早希さんは「工夫された応援に感動した。最後のコンクールは、新しく加わった1年生たちとも一緒に頑張っていい思い出を残したい」と話した。(岡部導智賢)

